

ハウステンボスグループ 2021年9月期の業績について

ハウステンボス株式会社（本社：長崎県佐世保市）とグループ会社の2021年9月期の連結業績は以下の通りとなりました。

【 2021年9月期のグループ連結業績 】
(2020年10月1日 — 2021年9月30日)

単位：百万円

ハウステンボスグループ	前期 2019年10月～2020年9月	当期 2020年10月～2021年9月	前期差	前期比
取扱高	14,620	12,444	▲ 2,176	85.1%
売上原価	3,430	2,872	▲ 557	83.7%
売上総利益	11,190	9,572	▲ 1,618	85.5%
販売費および一般管理費	14,587	12,478	▲ 2,108	85.5%
営業利益	▲ 3,396	▲ 2,906	490	-
経常利益	▲ 2,412	▲ 2,080	331	-
税引前当期純利益	▲ 4,198	▲ 624	3,573	-
当期純利益	▲ 3,914	▲ 1,119	2,795	-

- * ハウステンボス株式会社、エイチ・テイ・ビー観光株式会社、株式会社 hapi-robo st、株式会社ウォーターマークホテル長崎の4社計。
- * 株式会社ラグーナテンボスは2020年8月に株式会社エイチ・アイ・エスへ株式売却したため連結対象外となりました。
- * 株式会社 hapi-robo st は2021年2月に株式会社エイチ・アイ・エスへ株式売却したため第2四半期までの損益のみ含めております。
- * HTBクルーズ株式会社は、会社清算の為、2020年12月期に連結対象外となりました。
- * 株式会社ウォーターマークホテル長崎の損益は第4四半期より含めております。
- * 当期の営業外収益には為替評価益を472百万円、前期は160百万円の差損が計上されています。

【 2021年9月期のハウステンボス株式会社（単独）業績 】
(2020年10月1日 — 2021年9月30日)

- ・ 入場者数 1,277千人（前期比92.2%）
- ・ 内 海外客数 0千人（前期比-）
- ・ 宿泊者数 157千人（前期比109.8%）

単位：百万円

ハウステンボス(単独)	前期 2019年10月～2020年9月	当期 2020年10月～2021年9月	前期差	前期比
取扱高	12,258	12,239	▲ 18	99.9%
売上原価	2,931	2,716	▲ 215	92.6%
売上総利益	9,326	9,523	197	102.1%
販売費および一般管理費	11,325	12,325	999	108.8%
営業利益	▲ 1,998	▲ 2,801	▲ 802	-
経常利益	▲ 1,289	▲ 1,981	▲ 691	-
税引前当期純利益	▲ 2,632	▲ 2,437	195	-
当期純利益	▲ 2,438	▲ 2,146	291	-

- * 当期の営業外収益には為替評価益を472百万円、前期は160百万円の差損が計上されています。

【 ハウステンボス株式会社（単独）財産状況について 】

単位：百万円

	2020.9末	2021.9末		2020.9末	2021.9末
流動資産	18,865	18,864	流動負債	1,418	1,787
固定資産	25,124	23,419	固定負債	1,355	1,426
資産合計	43,990	42,283	純資産	41,215	39,069
			負債・純資産合計	43,990	42,283

（営業概況）

ハウステンボスは、以下の取り組みを行い、お客様満足度と場内体験価値の向上に努めるとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、お客様・スタッフ並びに地域の皆様の「安全・安心」確保に努めました。

昨年より実施しているハロウィンやクリスマス装飾などの環境演出強化に加え、ハウステンボスのブランド価値を意識した接客サービスのクオリティ改善を図りました。加えて、今春から本格的なシーズナル連動展開が始動し、結果的に推奨評価 NPS スコアが大幅に向上いたしました。

しかしながら、当期第 32 期(2020 年 10 月 1 日～2021 年 9 月 30 日)における環境として、新型コロナウイルス感染症による余波が影響し、カウントダウンの中止、時間短縮営業と一部ホテル・施設の休業を重ねてまいりました。また、ハウステンボスで働くスタッフ 19 名が新型コロナウイルス感染症に罹患し、みなさまにご心配をおかけいたしました。また、佐世保市保健所によるご指導も頂き、本件をきっかけにさらなる感染対策の強化を実施してまいりました。

このような状況下でも、3 月から「光のファンタジアシティ」のオープンや夏のガーデンプール新展開、リゾートシップマリエラの運航開始、夏休みわくわく体験プログラムの実施、9 日連続花火など体験価値を高める事ができる新コンテンツの投入を実現することができ、安全・安心を追求したイベント展開の訴求に努めてまいりました。

新型コロナウイルス感染対策については、「遊園地・テーマパークにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等に沿った取り組みを講じたうえで、接触感染・飛沫感染を徹底して予防する事に努めました。

その結果、テーマパークの通期(2020.10～2021.9)の入場者数は、前年同期比 92.2%の 1,277 千人、宿泊者数は同 109.8%の 157 千人でした。それに伴い、取扱高は同 99.9%の 12,239 百万円、営業利益は▲2,801 百万円となりました。経常利益は同▲1,981 百万円、当期純利益は同▲2,146 百万円となりました。

【ハウステンボス株式会社（単独） 2022年9月期通期業績見通しについて】

2022年9月期通期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染状況がどこまで影響を及ぼすか不明であるため、未定とさせていただきます。新型コロナウイルス感染予防対策を強化し、お客様に安心してご来場いただけるテーマパークの運営に努めてまいります。

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》
 ハウステンボス株式会社 経営企画室 須田・滝本
 TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025
<http://www.huistenbosch.co.jp>